

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	右肺下葉切除後の体積変化と形態変化	
1. 研究の目的と方法	肺葉切除は肺癌をはじめ、良性肺腫瘍、転移性肺腫瘍などの病気に対して行われます。以前私たちは肺葉切除ごとの体積の変化に関する研究を報告しました。その中で、右肺下葉切除後は、残存する右中葉が後方に偏位する症例があることがわかりました。その偏位が残存肺の拡張に影響している可能性があります。本研究により、右中葉が後方偏位する患者さんと偏位しない患者さんの、残存肺の体積変化の違いを明らかにすることを目的としています。対象患者さんの術前と術後1年の肺体積の測定を行い、術後予測呼吸機能を算出します。中葉が後方に偏位するグループと偏位しないグループの残存肺体積増加比（術後残存肺体積/術前残存肺体積）を比較します。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2016年1月1日～2023年12月31日の間に、附属病院にて右肺下葉切除を受け、手術の前後で胸部CTを施行された20歳以上の方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	患者の性別、年齢、身長、体重、BMI、喫煙歴、喫煙指数、術前呼吸機能、術前CT、術前全肺体積、術前各肺葉体積、併存疾患の詳細、治療疾患、肺切除既往の有無、術式、手術時間、出血量、分葉の程度、癒着などの術中所見、葉間作成に用いたステープル数、術後合併症の詳細、術後合併症に対する治療、ドレーン留置期間、術後在院日数、術後補助療法の詳細、術後CT、術後肺体積、術後各肺葉体積、術後残存肺の形態、術後の気管支の走行
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 氏名 柴崎 隆正
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 塚本 遥

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年9月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 研究責任者：助教 柴崎 隆正（しばざき たかまさ） 電話番号：03-3433-1111（内線 2890） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。